

3 学期のはじまり！ 夢中になって元気いっぱい遊ぼう

1月12日の
子どもたちの様子

「寒いね〜。」「ほら、はーって（息をはきながら）したら白いんよ。」と登園してきた子どもたち。

「うわわ！みてみて〜！」と元気な声が響きます。視線の先には…こ・お・り

こんな長い氷
できてたよ！
つめたいー

かおがかくれる
くらい大きいの
みっけ！

年少児（3歳）も年中・年長児の歓声に誘われて外に出てきました。思わず見とれています☆

見つけるの楽しい！そのあとは…

それぞれに夢中になって工夫して氷にふれたり、考えたりして遊び始めます

大きさにこだわって並べよう

かき氷屋さんです

パズルみたい

みんなもって、運ぼう

カップや手にいっぱい
あつめよう

シャリシャリって
音がするね

ストローで息を吹きかけて
穴をあけてみよう

ほくの考
えはふー
ってする
と氷が水
になるか
ら穴がで
きるんだ
と思う。

寒い朝に出会えた氷。

「冷たい」「溶ける」「割れる」「音がする」など様々な子どもたちの気づきから、「どうしてそうなるんだろう」と考えたり試したりしながら科学の芽も育まれています。びっくりするほどの冷たさ、驚きから思わずみんなに伝えたい気持ちも高まります。

この翌日の氷のない朝。3歳児が「氷が消えちゃったね」「どこにいっちゃったのかな？」と氷さがしを始めました。自然の不思議さ心ときめく生活は続いています。

この時期ならではの自然遊びを大切に過ごしていきたいです。